

# プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>

## 令和元年度CAD技術者研修開催される

— 1級の新規及び登録更新コースは中止に —

令和元年度のCAD技術者研修が2月に開催されました。今年は、東京の木材会館を会場に、2・3級コースは、2月4、5日に参加者数2級40名（うち会員工場からの参加者17名：以下同じ）、3級23名（12名）及び併願16名（4名）で実施しました。

2・3級コースでは、受講者が研修内容の理解度を自ら認識するため、研修終了後1時間の考査を行いました。各コースとも考査結果が基準点以上の受講者については修了証を授与し、申請によりプレカットCAD技術者認定登録が可能になります。

また、CAD技術者研修を平成25年度に受講し、登録した者については、年度末で登録期限の5年を



2級・3級コース研修会場

むかえるため、登録更新研修（2級）を2月18日に東京の木材会館において前年度からの繰り越し受講者2名を含む20名（11名）で実施しました。

しかしながら、1級コースの新規及び登録更新研修については、いずれも3月に実施することになっていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況に鑑み、中止といたしました。受講予定者については、2年度に実施する研修を受講することになります。

なお、登録更新者については、研修機会を広げるために期限が切れる当年度と翌年度に登録更新研修を実施することにしており、秋期には対象者へ事前に意向調査表を送付いたしますので、その際には登録更新のための研修受講手続きをお願いします。



2級登録更新研修会場

在来軸組工法住宅の生産では、主要構造部分の9割近くはプレカット加工された部材が使用されており、消費者のニーズに応えた安全・安心の家づくりには、プレカット加工業の役割は大きく、特に、工務店等からの発注に基づき、プレカット加工図を作成するCADオペレーターの能力向上が求められています。これらの研修は、会員の皆様の工場が地域の中核としてご活躍していただくための重要なポイントですので、その研修の成果をご活用されることを期待しております。

今年度も年度後半に研修実施を予定していますので、早めの応募をお願いいたします。

# プレカッタ業況調査 (令和2年2月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカッタ協会調べ (回答率: 48%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	32	65	-62	+24
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	23	29	48	-25	-52
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	答: 5,900円(対前回調査-100円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	6	74	19	-13	+3
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	68	29	-26	-10
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	10	74	16	-6	+14
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	0	55	45	-45	+14
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	42	55	-52	-3
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	23	25	52	-29	-45

\*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

\*前回調査: 令和元年11月

## ◇簡単なコメント

2月の各設問のDIをみると、受注額については、現状では前回予想結果(-52)どおり悪化の会員が約2/3を占めており、今後についても悪化の予想が上回っている。収益についても同様の傾向にあり、-52の現況となっているが、今後についても悪化の予想が半数の情勢となっている。加工単価については約3/4の会員が変わらずの状況であるが、3ヵ月後については悪化が増える予想している。また、資材の入手状況は、現状では、変わらずの状況にあるが、先行きは世界的な新型コロナウイルス拡大の影響からか半数近くが困難と予想している。今後は、感染症が終息する目途がつかない限り、需要の回復は見通せない状況のようである。

- 1 受注額のDIは-62で前回調査時(令和元年11月期)に比べて、悪化の現状にある。また、3ヶ月後の予測のDIは-25で悪化が継続するとの予想が大半を占めている。
- 2 3ヵ月前と比較した製品加工単価のDIは-13といくらか弱含みで大半の会員は変わらずの状況となっているが、平均総加工単価は5,900円と3ヵ月前と比べて-100円となっている。3ヵ月後の製品加工単価のDIは-26で軟化傾向は続くと予想している。
- 3 資材入手状況のDIは-6で比較的入手困難ではない状況にある。しかしながら、3ヵ月後の予測のDIについては-45と半数近くの会員は悪化の予想としている。
- 4 3ヵ月前と比べた今月の収益のDIは-52と半数以上の会員が悪化している状況にある。前回調査時の3ヶ月後の収益予測は-45であったが予想以上に悪化したものとなっている。さらに、3ヶ月後の収益予測は-29と、現状の困難な状況が継続するとの見通しとなっている。

# 令和元年 協会会員工場基礎調査結果について (第1回)

## — プレカット加工用資材の材種別使用状況 —

〈令和元年12月末現在〉

令和元年に協会会員工場で使用した資材について、国産材、輸入材別にグリーン材、KD材、集成材、合板、その他の使用割合について集計、分析を行いました。(調査工場数：34工場)

### 国産材 (46.9%)

表中の( )は昨年の数値

使用割合(%)	グリーン材	KD材	集成材	合板	その他
0～10	26	4	12	16	34
11～20	3	3	4	3	0
21～30	4	8	8	2	0
31～40	1	4	3	5	0
41～50	0	4	1	4	0
51～60	0	5	3	3	0
61～70	0	1	2	1	0
71～80	0	1	1	0	0
81～90	0	2	0	0	0
91～100	0	2	0	0	0
平均使用率(%)	8.8	42.2	25.0	23.1	0.9
中央値(%)	5	39	21	17	0
(平均使用率(%)	(11.6)	(37.6)	(25.2)	(22.9)	(2.7)
中央値(%)	(5)	(35)	(20)	(15)	(0)

### 輸入材 (53.1%)

使用割合(%)	グリーン材	KD材	集成材	合板	その他
0～10	30	5	1	28	34
11～20	4	2	2	3	0
21～30	0	8	3	2	1
31～40	0	7	5	0	0
41～50	0	5	7	0	0
51～60	0	4	3	0	0
61～70	0	1	8	1	0
71～80	0	2	2	0	0
81～90	0	0	1	0	0
91～100	0	0	2	0	0
平均使用率(%)	3.6	36.2	53.3	6.3	0.6
中央値(%)	0	33	50	0	0
(平均使用率(%)	(5.2)	(42.4)	(44.2)	(6.7)	(1.5)
中央値(%)	(1)	(40)	(40)	(0)	(0)

### ◇簡単なコメント

- 1 国産材においては、これまで平均使用率の長期的なトレンドとして、グリーン材の使用率の低下や集成材等の増加が続いており、今回の調査した結果では、KD材42%、集成材25%、合板23%、グリーン材9%という結果になった。平均使用率を前回と比較すると、グリーン材の割合は3ポイント低下している。KD材の割合は上昇しているが、集成材、合板の割合は低下している。
- 2 また、輸入材においては、集成材等を細分化した結果、集成材が53%、KD材が36%、合板6%、グリーン材4%、その他1%という結果になった。前回の調査結果より集成材の使用率が上昇し、合板は変わらず、KD材、グリーン材は低下している。

# 令和2年度事業計画及び収支予算を承認

## — 令和元年度第2回理事会を书面決議で開催 —

当協会は、当初3月17日（火）に令和元年度第2回理事会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況に鑑み、书面決議の実施で行いました。

当協会の定款により「理事全員が書面により同意の意思を表示したときには、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなす」となっており、結果として3月24日付けて理事会の承認をいただきました。

議事内容は、「令和2年度事業計画（案）及び令和2年度収支予算（案）」を提案し承認されました。さらに、「令和元年度事業の遂行状況」について資料でお示しし、この中では、従来から実施している普及事業、調査事業の他、技術支援事業として「プレカットCAD技術者基準」に基づくプレカットCAD技術者研修（1級～3級及び登録更新）の実施とプレカットCAD技術者認定登録の状況等が説明されました。

なお、今回の理事会で承認された「令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算」は、6月10日（水）に開催される第10回定時社員総会（会場：ホテルメルパルクTOKYO 東京都港区芝公園2-5-20）に報告されます。

## 知っておきたい構造関連・法律関係知識セミナーを開催

### — プレカット協会が主催・全国から多数参加 —

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会が主催し、全国住宅プレカット部材共済会とM&Kコンサルタンツ株式会社が共催して、12月17日（火）に当協会が所在する千代田区永田町の永田町ビルにおいて、「知っておきたい構造関連・法律関係知識セミナー」を開催しました。セミナーは、全国から約30名の参加者があり、非会員企業の参加もあり、関係業者の関心の高さを示しました。

まず、主催者として協会の下堂常務理事が開催の趣旨等のあいさつを行い、株式会社M's構造設計 代表取締役社長佐藤実様から、①「プレカットから考える耐風性能向上建築」と題して、また、一般財団法人住宅保証支援機構の瀬田恵之様、泉まゆみ様から、②「事例から学ぶ 住宅トラブルとその実態」と題して、さらに、M&Kコンサルタンツ株式会社 取締役企画開発部長大串豊様から、③「プレカット瑕疵保証/プレカットミス賠償責任保険のご案内」と題して、それぞれご講演をいただきました。



セミナー会場の様子

①については、昨年9月に発生した台風による暴風雨で千葉県内の家屋や建築物に大きな被害をもたらしたことを踏まえ、プレカット業界から考える自然災害に強い住宅づくり、特に耐風性能を向上するための建築についてどのようなことが取引先建築業者に提案できるかについて、構造計算の必要性も踏まえながらお話いただきました。

②については、2020年4月に施行される民法改正により「瑕疵」という言葉が「契約不適合」に変更されることを踏まえ、改正についてのポイントを解説いただき、また住宅瑕疵担保責任保険での具体的な事故事例を交えながら、住宅の施工では何に気を付けなければならないかを取引先建築業者に説明できるようになるためのお話をいただきました。

③については、非会員企業の方に対してはもちろん、会員企業の方にも理解いただくよう、当協会が現在行っている各種保証・保険制度について詳細に説明していただきました。

最後に、参加者からアンケートにご回答をいただき、大変有意義だった、ためになった、今後もこのようなセミナーを開催してもらいたい、など大変好評な感想・結果となりました。